

市報とす №711 ● 1992.6.1

TOSU



園児が稲づくりで農業体験

5月22日、鳥栖園の園児たちが苗づくりをしました。子供たちに種まきから収穫までの稲づくりを通して農業に親しんでもらおうと、農業改良普及所が行っているもの。今月中に苗植え、9月中旬には収穫できる予定で、園児たちも観察記録をつけながら、楽しみにしています。

日本の中世城郭からみた鳥栖の山城と城下町

鳥栖のような地方の中核都市で、戦国時代以前の城下町が残っているのは非常に珍しい。なぜなら、今の都市は戦国時代や室町時代にできた集落の真上に、ほとんど重なるような状態で形成されています。そういうところで発掘調査や整備をしようとする、まちを掘らなければならないし、とてもできるようなことではありません。

ところが、勝尾城は鳥栖の中心から離れ、今だに城下町が戦国時代のままそっくり残っている非常にまれなケースで貴重なものです。

勝尾城と、同時代に肥前国内にあって、現在残っている城跡とを比べてみると、勝尾城の城門（虎口）には、県内の戦国時代の城造りに特有の「くの字」に曲がった虎口、まっすぐに入る虎口、鉤型の虎口の3つがあり、県下の山城に相通ずる部分が集中的にある点で、勝尾城は貴重な山城です。

敵が斜面を横に移動しながら登ってくるのを防ぐ畝型堅堀は、県下7例のうち4例が鳥栖とその周辺に見られます。畝型堅堀は毛利、大内といった中国地方の大名が頻繁に使っていたもので、こういう遺構が中央から離れた九州の筑紫氏の所領に集中的にあるのは非常に興味深い。

佐賀県文化課
宮武正登氏



葛籠城の空堀は非常に長大で、その規模はおそらく日本で残存しているものではトップクラス。他の都市にもこういう城があったらろうし、資料にも出てきますが、そっくりそのまま残っているというのは鳥栖のものぐらいでしょう。

戦国の城下町は、館を中心とした武家のまちと街道にあるまちとの2つが、完全に全く別の空間で存在していた。それを一つに集めようとするのが近世の城下町の動きであった。

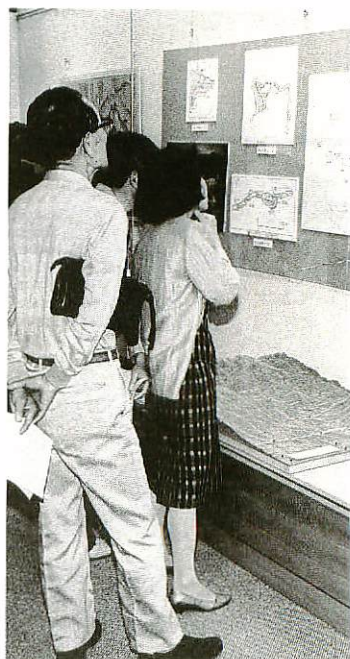
筑紫家文書の中の絵図には、館のあたりに武家の集落があり、新町の集落が右端に出てくる。両者の距離は非常に離れており、それとは別に大きくはずれた外側に大町、今泉とあったものを、総構と

筑紫氏と筑紫文書

筑紫氏の研究は鳥栖市史をご覧になれば分かるようにほんの数ページ、地元に残っている資料もほとんどないに等しい状態です。

なぜなら、天正15年(1587)、

企画展/鳥栖の中世 筑紫氏の



筑紫氏資料に見入る来場者

呼ばれる空堀を造ることによって1か所に集めようとした。その直後の滅亡…。

言い換えれば、勝尾城の城下町は江戸時代にでき上がる日本の城下町の最初の形が完成する前に途中で途絶えている——タイムマシンがずっと止まっているような形態を、まだとどめている。

当主の主水正広門が筑後に移るとき、古文書を持つような家来たちをみんな連れていったため、ここから主な資料が消え、関ヶ原の戦いでは負ける側についたために没落し、家臣らの主なものが散逸した。

中世、近世の家督相続にはひとつのやり方があって、宣教師ルイス・フロイスは著書「日本史」の中で、系図や重書といった家の宝



メモをとり、熱心に講師の話を聴く参加者

実像に迫る

市立図書館の開館を記念して5月17日から1週間、同図書館で開かれた企画展「鳥栖の中世—鳥栖の戦国・筑紫氏と山城」。古文書や遺物、写真など100点余りの資料と講演会、ビデオ上映で筑紫氏の実像に迫りました。

筑紫氏は肥前、筑前、筑後の数郡を支配した戦国大名。鳥栖に築いた本城・勝尾城を中心とする大規模な中世山城群の遺跡発見は全国の注目を集めました。

この号では、企画展の初日に行われた講演を再録（抜粋）しました。なお、中世山城群の遺跡については市報7月1日号から連載します。ご期待ください。



筑紫家祖座像（高さ26センチ）

となるような古文書や、刀剣、甲冑などの品々を後継者に譲ることが家督相続の儀式であり非常に大事なことであったと報告している。

ところが、筑紫氏の場合、しばしば滅亡に近い危機状態にひんしている。例えば大永4年（1527）、満門が馬場頼周に謀殺され、永禄10年（1567）に惟門が岡山で自殺、そして天正14年（1586）の島津戦争、

法政大学講師
福川一徳氏



慶長5年（1600）の関ヶ原と、何度も家の危機があったため、正常な状態で家の文書が相続されていない。現在残っている文書も、これはと思う古いものは全部写しです。

それに、系図が非常に混乱している。これは筑紫家が戦国末期の非常に混乱した時代を迎えていたことによっています。

筑紫上野介広門の正妻の子には男子が1人しかおらず、いろんな事情から弟の主水正広門を養子にして跡を譲っています。関ヶ原で敗れたあとは肥後の加藤清正にひきとられて熊本に行き、そのとき側室となった女性との間に男子が何人か生まれます。この側室の長男・信門が主水正広門の跡を継ぎ、その弟・重門が熊本の総領家を継いでおり、この段階で筑紫氏文書は二分割されます。後に江戸へ行く信門の系統と熊本に残る重門の系統に分かれてしまうわけです。

江戸筑紫文書は享和3年（1803）に9代目の孝門が整理し、23巻を作りますが、現存しているのは11巻、残りは所在不明です。

筑紫氏の系譜は、坂上田村麿の末裔であった尚重が、少弐一族の武藤経重の養子となり、筑前の筑紫村に住んでいたために筑紫姓を名乗り、尚門—満門—秀門—惟門—上野介広門—主水正広門と続いていきます。

「郷土資料講座」 受講者を募集

鳥栖エコロジー再発見 など3コースを開催

教育委員会では、平成4年度郷土資料講座として次のカルチャースクール3コースを市立図書館2階視聴覚室と集会室で開きます。各コースとも40人程度を募集。受講料は無料で、どなたでも受講できます。若い方も鳥栖の歴史と自然にふれる絶好のチャンスです。

申し込みは同委員会社会教育課文化財係（☎53695）へ。また、当日ごとの参加も受け付けます。

◆古文書の解読実践コース

6月6日から毎月第1・3土曜日午後3時半～同5時（計20回）。

歴史を知る上で重要となる古文書を解読し、地域の近世史について学習します。昨年度に引き続き、江戸時代対馬藩田代領の記録「基肆養父実記」の読みくだしを行い、最終的には、その成果の出版を目的としています。

◆鳥栖エコロジー再発見コース

6月20日から毎月第3土曜日午後1時半～同3時（計12回）。

鳥栖地域を中心とした佐賀の野生植物・野鳥をとり上げ、その分類・名称・特徴などを学習。現地研修も数回予定しています。

◆考古学教室

7月4日から毎月第1土曜日午後1時半～同3時（計8回）。

考古学全般について、過去十数年の鳥栖市の遺跡発掘調査の成果を紹介しながら、わかりやすく解説。考古学への理解を深め、郷土の文化財保護を考えます。実際の発掘調査現場の見学、発掘体験なども予定しています。

仕事して友達ができて健康にもいいねえ

シルバー人材センターが発足して4か月、159人が登録

鳥栖市シルバー人材センターが発足して約4か月。現在、58歳から86歳までの159人(男107人、女52人)が会員として登録し、様々な仕事に就かれています。

シルバー人材センターは、急速にすすむ高齢化社会の中で、もう就職は望まないが、何か仕事をしたい、何らかの収入を得たいという、健康で働く意欲のある高齢者(原則として60歳以上)の願ひに応える新しい就業システムです。

生きがいと仕事を通して 地域社会に貢献

センターは法律に基づき、県知事の指定を受けて設立された公共的、公益的な団体で、営利を目的とせず、働く意欲のある高齢者が集まって運営しています。県内には18か所のシルバー人材センターがあり、約2,100人が会員として登録しています。

官公庁や民間企業、地域住民のみなさんの理解と協力を得ながら仕事を開拓し、高齢者の生きがいと、知識・経験・技能を生かした仕事を通して、地域社会の発展に貢献することがその目的です。

小池ヨシ子さん(75歳、村田町)



「コミュニケーション」

話し好きで世話好きのほうだから、センターの仕事をしていてもとても楽しいですね。長靴をはかないとできないようなところの草取りもしましたけど、一緒に仕事に行く五人みんなで楽しくおしゃべりして、コミュニケーションづくりができて、いいと思いますよ。もともと体を動かすことが好きなんですしうね。でも、仕事は時間励行で一生懸命やっていますよ。

配分金(報酬)は
1時間500~900円

仕事は、会員にふさわしい仕事をセンターが請け負い、会員が登録している希望条件にそって従事

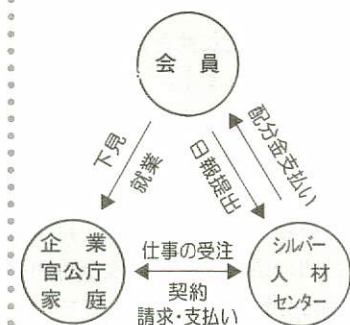
する会員を選択、決定します。会員とセンターは作業の内容や場所の下見をし、会員が了解すればセンターと発注者との間で契約を結びます。

従って、仕事を発注した方と仕事に従事する会員との間に雇用関係はありません。

仕事が終わると、発注者は就業報告書を、会員は作業日報を事務局に提出しますが、これは会員の配分金(報酬)を算出するときの基礎となると同時に、発注者への請負代金の請求の根拠になります。

配分金、材料費、事務経費などの請負代金は一括してセンターが受け取り、仕事の内容に応じて1時間当たり500円~900円の範囲で、

シルバー人材センターのしくみ



戸時代対州藩に所属していた。延宝三年(一六七五)から貞享二年(一六八五)までの十年間、この地で副代官を務めた賀島兵介成白公(号は恕軒)は、はるばると対馬から赴任。その善政は、後に貝原益軒をして「兵介公の治績は孟子以上」と嘆賞させるに足るものであった。

帰藩後、大監察となつて藩主宗義真公に建白書を提出。これが容れられず、禄を没収され、上県郡伊奈村に幽閉されたのち、元禄十年(一六九七)五十二歳で他界。

兵介公を慕う領民の復権運動が実つたのは、それから八十年後であった。

市内太田観音境内に兵介公の顕彰碑があり、今も命日の四月九日、顕彰会による賀島祭が行われている。

とかく政治のあり方に厳しい批判が行われている今日、民衆とともに汗と涙を流し、住民の救済、地域経済の発展に命がけで働いた賀島兵介公の政治姿勢は、行政にたずさわる私達が大いに学ばなければならぬことである。

この原稿を書いているとき石橋干和先生から鳥栖市の緑化推進にと、ひとつばたご寄贈の申し出であり喜んでゐる。

会員に配分金が支払われます。

団体傷害保険で 安心して働けます

会員の就業は雇用関係をもたない臨時的、短期的なものであるため、社会保険は適用されません。しかし、会員が安心して働き、発注者も安心して仕事を頼めるようにするため、労災保険に代わる補償制度として団体傷害保険制度があり、保険料はセンターが負担しています。

就業中に事故にあった場合に、保険金が支払われます。

除草、事務補助、当直など 豊富な仕事内容

仕事の内容は、植え木のせん定、消毒、左官、大工などの技能的なものから、庭の除草、清掃、車の運転、あて名書き、事務の補助、軽作業、留守番、家事、当直など広範多岐にわたっています。

間(ま)に仕事を引き受けて、あて名書きや押し花作りなんかを四日ほどやりました。この年で、まだお金を出して雇ってくれる人がいると思うと、もらった報酬はもったいなくて使えませんでした。娘から弁当を作ってもらって、仕事で友達ができて、気晴らしにもなっていて楽しいですね。通勤で歩くのも体にいいし、条件さえ合えばまたやりたいですね。

草取りをして、報酬をもらって、お昼がきたら庭で弁当を広げて、ピクニックに行ったみたいで楽しいよ。だけど仕事はまじめにやってみよう。小さな草まで根こそぎ取るからね。請け負った限りはプロだから真剣にやらなきゃいかん。でも、こっちも年寄りで、三人がかりで三日も四日もかかると、仕事を頼んだ方に気の毒な気がするが、働く意欲は十分にもっているよ。

請け負った限りはプロ



松隈一郎さん(85歳、藤木町)

発足から4月末までに、企業や個人から依頼のあった仕事のうち58件をセンターが引き受け、そのうち30件と契約。26人の会員が延べ173日間にわたって就業されています。

60歳以上の方なら どなたでも会員に

健康で働く意欲のある原則として60歳以上の方なら、どなたでも会員になることができます。事務局で入会の申し込みをしてください。

条件さえ合えば……



山田民さん(69歳、田代外町)

い。

会員になったといっても、センターに雇われたものではありません。し、すぐ仕事につけるものでもありません。センターが引き受けた仕事の範囲内で自分の仕事をみつけて働くことになります。

企業や家庭のみなさん

こんなときはセンターへ

企業やご家庭で、新たに人を雇うほどではないが期間内に処理しなければならない急ぎの仕事があるとき、高齢者に向いている軽易な仕事をしてもらいたいとき——こんなときはセンターにご連絡ください。

仕事の内容や条件について十分に話し合って契約し、希望する会員が請け負った仕事を完成します。

センターについてのお問い合わせ、ご連絡は鳥栖市シルバー人材センター事務局(福祉事務所内 ☎ ⑤3550または④3147)へ。

市長随想②

風 ふう 聲 せい

「なんじゃもんじゃ」

山下英雄

今年五月、市庁舎前の庭園で、珍しい「ひとつばた」が見事に開花した。これは宿町小田四郎さん寄贈のもので樹齢十四年である。この木は「なんじゃもんじゃの木」で有名。本州中部(長野県南部、愛知県、岐阜県)と対馬に隔離分布する。大きいものは高さ二十五メートル、直径五十センチにも達し、天然記念物に指定されたものもある。植物学者でもあった昭和天皇の御製に「わが庭のひとつばたを見つつ思う海の彼方の対馬の春を」という一首があるが、皇居の庭にも植えられ、陛下が観賞されていたのであろう。対馬では真っ白な満開の花が入り江に映り、海を照らしているように見えるので、「海照らし」とも呼ばれている。さて、藤木川から以東の現鳥栖市内と基山町全域は、江

農業

新時代

◁14▷

真木町の八坂浩幸さん(31歳)は、酒井東町の畜産団地で70頭の和牛を肥育、このほか両親が米4㍏、麦5㍏、アスパラ0.2㍏、和牛肥育40頭を経営する専業農家です。

小さいころ、父親の仕事を手伝いながらその仕事ぶりを見て「将来は自分も農業を」と決心していました。

確立されていない育肥技術
試行錯誤を重ね、上物肉を

70頭を肥育する八坂さん

肥育技術は、米麦などのようにこれといって確立されたものがなく、自分自身で見極めていくしかありません。

試行錯誤を繰り返すなかで、上物肉のつくり方が近ごろようやくわかりはじめました。

「和牛は主に大阪、二日市へ出荷、上物肉は輸入牛肉の影響を受けることもありません。また、上物率が上がれば頭数を増やさなくても十分経営が成り立ちます」

「今までの農業のあり方についての考え方を換え、周りに流されることなく農業を続けていきたい」と八坂さん。

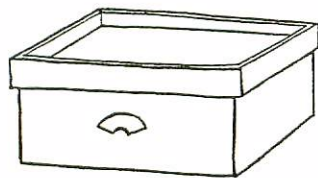
今後も肥育牛だけで営農していきたいと考えています。

消えゆく民具 —生活用具編—

②膳・盆(ぜん・ぼん)

最近ではテーブルといすで食事をする家庭が多く、明治後期から大正初めにかけて普及した「チャブダイ」(四つ足の大きな座卓)も姿を消しつつあります。それより以前に使われていたのが箱膳で、膳箱や角膳ともよばれていました。

箱膳は、家族の一人ひとりに与えられていたもので、箱の中に食器を入れておきます。食事のときに箱から食器を出し、箱膳の蓋を

箱
膳

ひっくり返して盆のようにして食器を並べ、食事をしていました。

お祝いや葬式などには、両足や四つ足、猫足などの足のついた高足膳が用いられていますが、足のない会席膳も客用として使われていました。

盆は昔、浅い鉢状のものをさしていましたが、現在は縁をつけた平らな板で、食器や食物を運んだり、膳の代わりに使ったりしています。円形が本来の形であるといわれています。

膳も盆も、材料はケヤキやスギなどを多く用い、木地物と漆を塗った塗り物とがありますが、現代ではお椀と同様、樹脂に色をつけた物も多く出まわっています。



両足膳



四つ足膳

入賞おめでとう

●第4回「鳥の日」愛鳥週間ポスターコンクール(応募一六〇点)

【市長賞】西山絵美(鳥栖北小六年) 【議長賞】中村紘子(鳥栖北小六年) 【佳作】岩生和美(鳥栖北小六年) 大里郁美(同) 大塚沙樹(同)

斎藤紗希子(同) 酒井隆好(同) 奥村明子(鳥栖北小五年) 川久保藍(同)

松隈圭子(同) 竹内由佳(同) 桑原太一(同) 陣内潤(麓小四年) 成富春奈(同) 篠原千佳(田代小二年)

志戸あゆみ(同小一年)

●第4回「鳥の日」書道コンクール(応募一、四一七点)

【市長賞】大塚歩(旭小六年) 山口るみ子(同小五年) 山本和あき(同小四年) しの原里美(同小三年) よし川ありさ(同小二年) よこおゆう一(同小一年) 【議長賞】広松春美(旭小六年) 高木嘉大(同小五年)

緒方美希(同小四年) 高木智子(同小三年) なかのぞみ(同小二年) さなだあゆみ(同小一年) 【佳作】古川祐美(基里小六年) 牟田文香(若葉小六年) 古賀尚美(旭小五年) 広尾悦子(同小五年) 豊増美奈子(同小四年) 平川ゆう子(同小三年) 河合仁志(同小三年) ひわかしかずや(同小二年) 赤司とくまさ(同小二年)

みずきちか(同小一年) 黒田よしみ(麓小四年) くらだあきこ(同小一年)

次の世代のために

いつまでもきれいな川で

宝満川ワーキング・グループ(筑後川水質汚濁対策連絡協議会支川部会)のメンバー8人が5月18日、宝満川とその支川15か所を合同パトロールし、河川の水質汚濁状況を把握しました。

同グループは、県境を越えた筑後川水系宝満川流域の7市町(鳥栖市、久留米市、小郡市、筑紫野市、基山町、夜須町、三輪町)で構成。宝満川とその支川で水質検査を行い、汚濁状況を図示した汚濁地図の作成や、合同パトロールによる水質監視を続け



ているほか、独自に持つ情報を交換、提供しあって、水質汚濁防止に役立てています。

水質汚濁の原因の約6割が、家庭から出る生活雑排水によるものといわれています。対策として、下水道の整備、合併処理浄化槽の普及などがありますが、これらの整備には、多額の費用と長い年月が必要になります。

水質汚濁をなくすためには、台所から出る食べ物の残りをかすなど



パトロールする宝満川ワーキング・グループ

を極力、流さないようにすることが、身近にできる有効な手段です。

ふるさとの豊かな資源を次の世代に引き継ぐために、各家庭での実践をお願いします。

河川などの水質汚濁防止活動に関するみなさんのアイデアやご意見は、同グループ事務局(生活環境課内 ☎ ☎ 3577)へ。

悪質商法に気をつけて①

私たちの身の回りには、いろいろな商品がふりまされ、お店に買いに行かなくても、通信販売、訪問販売などで簡単に商品を買ったことができます。でも、この中には悪質商法といわれる詐欺まがいの売り方もあり、年々、消費者の方からの相談、苦情が増えています。そこで、いくつかの事例を数回に分けて、市報で紹介いたします。「おかしいな?」「困ったな!」と思ったら、すぐに生活環境課市民相談係 ☎ ☎ 3577(6)へ。

アポイントメントセールス

【事例】

日曜日、自宅に「モニターに選ばれました。無料招待です」とエステの無料体験勧誘があった。

面白そうだったので行ってみると、瘦身コースを個室で長時間勧められ、契約しないと帰れない雰囲気になり、契約してしまった。

【アドバイス】

同窓会名簿や職員録などで、手当たりしだいの電話攻勢。親しげな声で「サービス」「特典」を強調。

その甘い声のウラには、高額のエステコースや英会話の教材販売、役に立たない会員権などの販売が隠されています。

見知らぬ人からの電話。疑ってかかるのが無難です。



まつり鳥栖'92参加団体募集
申し込みはお早めに

鳥栖市観光協会では、毎年七月の最終日曜日に行われ、夏の風物詩として市民にすっかり定着した「まつり鳥栖'92」のパレード、まつり広場(展示、即売)、市民総踊りへの参加団体、グループを募集しています。参加を希望される団体、グループは、早めに同協会(☎ ☎ 8415)へ。

400歳 第15回鳥栖市オールド
野球大会・代表者会議

六月二十三日(火)午後六時、市役所二階第五会議室。出場資格は市内に居住または勤務する四十歳以上(平成四年四月一日現在)の方で選手九人の合計年齢が四百歳以上であること。参加料一チーム五千円(当日持参)。大会は七月五日から開催予定。

防火管理者資格取得講習会

七月九日(木)・十日(金)、鳥栖・三養基地区消防本部。受講申し込みは六月十日から同三十日まで、にテキスト代三千円を添えて同本部予防課(☎ ☎ 2870)へ。

経営管理者講習会

「従業員の定着と人手不足の解消」六月十九日(金)午後二時~同四時、鳥栖商工会館。受講無料。申し込みは六月十七日までに鳥栖商工会議所(☎ ☎ 3121)へ。

障害者の方に タクシー料金を一部助成 手続きはお早めに

市では、6月1日からタクシー料金の一部助成を行います。

助成の対象は、鳥栖市に住所がある在宅の障害者の方で①1級か2級の身体障害者手帳をお持ちの方または②判定Aの療育手帳をお持ちの方です。

助成額は基本料金分で、1か月

当たり2回分(年間で24回分)を利用券で助成します。

助成の申請は、印鑑と身体障害者手帳または療育手帳(判定期限が切れた手帳は受け付けできません)を持って、福祉事務所で早めに手続きをしてください。なお、申請は原則的に本人が行うことになっていますが、障害上の理由などで来庁できない場合は、同居の方でも構いません。

詳しくは同事務所社会係(☎3552)へ。

善意が支える育英資金

本年度から奨学金を月額1万円に引き上げ

市教育委員会の育英資金奨学生制度をご存じですか。

この制度は育英資金貸付基金を運用し、高校や高専に進学・在学する堅実で優秀、しかも学費の支弁が困難と認められる生徒に、学資として奨学金を貸し付けるものです。昭和42年に制度発足以来、1学年12人をめどに毎年約30人が奨学金を受け、大学に進学あるいは社会へ巣立っています。

奨学生への貸付金は、源資金となる基金(一般会計からの繰入金、寄付金など)から生ずる利子でまかなっていますが、現在の基金額の利子の運用では奨学生の人数が制限されるため、もっと多くの生徒が奨学金を受けて学業に励んで

もらうには、みなさんからの寄付金が制度運営に欠かせないものになっています。

寄付金は例年、年間10万円ほど寄せられていますが、本年度はみ

一緒に考えよう!母と子のきずな

すこやかセンター(保健センター)では、母と子の健康講演会「一緒に考えよう!母と子のきずな」を開きます。

母と子の相互作用は胎内から始まります。胎児のころから持っている赤ちゃんの素晴らしい能力が母と子の肌と肌のふれあい、目と目のふれあい、話しかけて健やかに花開きます。母と子のきずなについて一緒に考えてみませんか。

危険物安全週間

6月7日～13日

「心・技・知
危険物には真剣勝負」

危険物とは、消防法で定められた次のような危険性を持つ物品です

- 火災発生の危険性が大きい
- 火災拡大の危険性が大きい
- 消火困難性が高い

身近なものでは、ガソリン・灯油・ペンジンなどがあります。取り扱いには十分注意しましょう

みなさんの温かいご理解のもとに、既に約90万円が寄せられています。

教育委員会でも現在の社会経済情勢を考え、奨学金の額を本年度、月額8,000円から1万円に引き上げました。

詳しい制度の内容や寄付についてのお問い合わせは教育委員会総務課総務係(☎3691)へ。



これからお母さんになる方、現在子育て中の方、どしどしご参加ください。

とき/6月29日(月)午後1時半～同3時 ところ/すこやかセンター 講師/橋本武夫先生(聖マリア病院副院長) 申し込み/保健課保健センター係(☎3650)へ

亡母ヨ子)▽岩坂雅彦(古野町、亡母葉月)▽山上恵子(山浦町、亡夫泰弘)▽大隈昭代(同、亡夫一次)▽古賀久慶(儀徳町、亡母久恵)▽大場九明(田代外町、亡妻倭文枝)▽久米辰雄(本杉住宅、亡妻キク)▽権藤百代(蔵上町、亡夫廣次)▽松隈良之介(同、亡父駒作)▽平山チヨ子(今町、亡夫強)▽西山チヨノ(東町、亡夫次作)▽塚本和義(田代本町、亡父次男)▽篠原恒幸(柚比町、亡父孫作)▽中村イッソ(宿町、亡夫忠義)

(一般寄付) 社会福祉協議会へ▽三万円(拾得金の還付金)：高取長一(西新町)▽三万円：中村修(佐賀市)▽五万円：日本音遊会(古賀秀信会長・久留米市)基里中学校へ▽演台一式(七十万円)：協同組合鳥栖商工センター(礎久義理事長)田代中学校へ▽折りたたみ式テント三張(二十五万三千円)：平成三年度卒業生一同(代表宮原久)田代小学校へ▽通学用歩道の建設(十万円)：平成三年度卒業生一同(代表佐藤安子)育英資金へ▽十六万四千三十一円：ユーコー(株)鳥栖支店社員一同▽十万円：国際親善ローズアソシエーション(中富文子会長)▽五万円：緒方忠(真木町)▽五十万円：鳥栖市宿町戸口土地区画整理組合鳥栖園へ▽木製タオル掛け三台、整理ダンス二台、洋式まごとセット一式(十九万四千四百円)：平成三年度終園児一同

◆国民年金保険料の納付は便利な口座振替で!!

スポーツ好き人間

集まれ!

「身近なスポーツの講習会」

教育委員会と体育協会では「新しい時代の身近なスポーツ」をテーマに、講習会(住民スポーツ推進指導者研修会)を開きます。

県立大和養護学校教頭(元県教育委員会体育保健課主幹)相良哲郎氏の講演「地域スポーツと指導員のかかわり」のあと、実技では

ソフトバレーボール、綱引きとニュースポーツの紹介を行います。

日ごろ、地域スポーツに携わっている方をはじめ、スポーツに関心、興味がある方ならどなたでも参加できます。参加無料。お気軽にご参加ください。

とき／6月14日(日)午前9時～午後3時 ところ／中央公民館ほか
申し込み／6月10日までに教育委員会社会体育課(☎☎3522)へ
その他／運動ができる服装で筆記

用具、体育館シューズをお持ちください。全日程の修了者には、修了証を発行、家庭でできるスポーツマニュアル集を差し上げます。

特別弔慰金の請求は 6月27日までに

昭和60年4月1日から平成元年3月31日までの間に、公務扶助料、遺族年金などの受給権者が遺族内にいなくなった方などの遺族(戦没者などの死亡当時、三親等内の親族)で一定の要件を満たす方に、特別弔慰金(額面18万円の国債)が支給されます。

請求手続きなど詳しくは福祉事務所社会係(☎☎3552)へ。6月27日までに請求されないときは、時効により受給できなくなります。

◆東京・富士山へ少年少女を派遣◆ やまびこ研修回 回員募集

21世紀の鳥栖を担う子どもたちに、研修を通して視野を広げ、自主性や協調性を養ってもらおうとはじまった「やまびこ研修団」も今年で10回目を迎えます。

今回は東京・富士山に少年少女を派遣。国会議員との懇談会や都内見学、富士山登山などを行い、団体生活を体験、団員同士の友情を深めます。

■派遣期間 8月26日(木)から29日(日)まで(3泊4日)

■研修地 東京・富士山

■参加資格 市内に居住する小学3年生から中学3年生まで(保護者同伴でも可)で、事前研修に参加でき、研修に耐えられる心身ともに健康な者

■募集人員 ▷一般団員=80人

程度▷リーダー・実行委員(高校生以上)=若干名

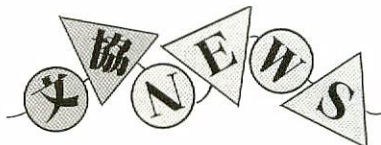
■参加費用 小学生4万2,000円、中学生5万2,000円

■事前研修 7月5日(日)午前9時～午後3時、8月9日(日)午後1時～同5時までの2回

■申し込み 往復はがきで、住所、氏名、性別、生年月日、年齢、電話番号、学校名、学年、保護者氏名◎を記入のうえ、鳥栖やまびこ研修団事務局(〒841鳥栖市古賀町395番地7居石隆方)へ ※先着順で締め切ります

■主催 鳥栖やまびこ実行委員会

■問い合わせ 鳥栖やまびこ研修団事務局・居石隆(☎夜☎6152 昼092-633-6539)



鳥栖市文化事業協会 ☎☎3645

チケッ ト 発売開始

松山バレエ団公演

「くるみ割り人形」全幕

森下洋子・清水哲太郎主演

とき●11月10日(火)午後7時

ところ●市民文化会館

入場料●全席指定S席8,000円、A席6,000円、B席4,000円
学生席2,000円

▽松隈清(今泉町、亡妻カホル)▽重松ヒサヨ(同、亡夫敏美)▽小峯敏子(神辺町、亡夫重光)▽前田千恵子(村田新町、亡母松尾アヤ)▽井本文男(原古賀町、亡母國武フイノ)▽酒井喜代美(原町、亡母ユキヲ)▽櫻樹芳治(幸津町、亡父辰巳)▽龍頭吾知(秋葉町、亡父勇)▽古賀精純(同、亡母幸子)▽桑原功(森木町、亡父策雄)▽原山由光(酒井西町、亡母ミツオ)▽緒方忠(真木町、亡母ミツオ)



香典返し 社会福祉協議会へ

4月30日現在
(敬称略)

六月十一日(木)午後六時半、市民文化会館。まぬけな大どろぼうと変な魔法使いを二人の少年が追いかける、ハラハラドキドキ、笑いと冒険の世界。人形劇団ひとみ座。会員制で、入会金二百円、月会費九百円。詳しくは鳥栖子ども劇場事務所(大正町☎☎7415)へ。

鳥栖子ども劇場第69回例会
「大どろぼうホッツエンフロツ」

六月七日(日)午前十時、田代公民館集合。参加無料で定員六十人。当日は昼食、水筒、雨具、タオル、筆記用具などをお持ちください。申し込みは教育委員会社会体育課(☎☎3522)へ。

史跡めぐりハイキング
「古墳めぐりコース」

◆第10回記念鳥栖地区高校演劇祭

6月7日(日)午後1時、中央公民館。入場無料。鳥栖高校、鳥栖商業高校のほか、鳥栖高校OB、劇団怒幻鳥栖郷が賛助出演。

(Viva! ビバ スポーツ¹²)

創部以来初

女子ダブルスで優勝

4月11日、12日の両日、県総合運動場で開かれた佐賀県高校テニス選手権大会女子ダブルスで、同級の長嶋めぐみさん(基山町)と組み、鳥栖商業高校硬式テニス部初の優勝を勝ち取った、立石かお

るさん(3年生、牛原町)。

立石さんは、高校からテニスを始め、持ち前の負けん気でめきめきと力をつけ、キャプテンに。

「試合では勝負強く、指導力があり、部員からも慕われています」と、指導に当たる井上健史先生(29歳)。全部員が選挙で選んだキャプテン立石さんへの部員の信頼は絶大です。

厳しい練習が終わり、家に帰るのは夜8時過ぎ。「テニスが好き。試合に勝った時は、本当にやってよかったと思います」。6月6日から始まる高校総体では「まずは団

体戦に勝って、みんなで九州大会(沖縄)に行きたい」と、日焼けした顔にオシャレな眼鏡と白い歯が印象的でした。



自然に親しむ キャンプ講習会

市農林課では、水と森のキャンプ講習会として次の二つの講習会を御手洗の滝キャンプ場で開きます。定員はいずれも30人。申し込みは6月5日から受け付けます。

詳しくは同課(☎3564)へ。

◆地域指導者のキャンプ講習会

とき/7月18日(土)～同19日(日)、1泊2日 対象/市内に居住する一般の方 参加料/無料(保険料300円程度が必要) 内容/キャンプ設営・撤去、登山など。

◆青少年のキャンプ講習会

とき/7月24日(金)～同25日(土)、1泊2日 対象/市内に居住する小学4年生から中学3年生までの男女 参加料/無料(保険料300円程度が必要) 内容/野外炊飯の準備、夏の星座観測、登山など。

佐賀県ペタンク普及 指導員養成講習会

佐賀県ペタンク協会と市教育委員会では、子供からお年寄りまで幅広く楽しめるペタンクを一層普及させようと、県内に住む一般の方を対象にペタンク普及指導員養成講習会を開きます。

講習会では日本ペタンク協会から講師を招いて講義や実技などを

行い、履修した受講者には同協会公認の「普及指導員」として認定証をお渡します。

とき/6月28日(日)午前9時～午後3時半 ところ/中央公民館ほか 定員/100人 受講料/2,000円 申し込み/6月22日までに佐賀県ペタンク協会事務局(教育委員会社会体育課内☎3522)へ その他/運動ができる服装で筆記用具をお持ちください。

高齢者就職情報

高齢者職業相談室(市役所市民玄関右側)には、現在、企業から次のような求人申し込みがあります。詳しい仕事の内容は同相談室(☎3556)へ

- ◎食品製造(藤木町): 男女50～60歳、12万～15万円
- ◎スタンドマン(立石町): 男

女20～60歳、16万～22万円

- ◎守衛(市内): 男20～65歳、12万～14万円
- ◎倉庫内作業員(村田町): 男18～60歳、11万～11万9,000円
- ◎清掃員(市内): 女30～65歳、9万8,000～10万円
- ◎ブラインドの組み立て(田代外町): 女50～60歳、15万～17万5,000円

6月の納税

市 県 民 税
(1期分)
国民健康保険税
(1期分)
納期限●6月30日



人口

平成4年5月1日現在

総 数 56,069 (+29)

男 26,745 (+7)

女 29,324 (+22)

世 帯 16,995 (+96)

()内は前月との比較



水道の修繕

水道の修繕については、すべて鳥栖市管工事協同組合(蔵上町☎2500)へお申し込みください